

1学期を振り返る

9月30日（水）は、1学期の終業日です。水戸市内の多くの中学校では水戸市新人体育大会との関係で28日（月）に通知表「あゆみ」を配付しました。本校では、28日（月）の第5校時に各学年の代表生徒が第1学期を振り返る作文を放送で発表しました。各学年の代表生徒が発表した作文を紹介いたします。



1学期を振り返って

1年1組 入野 陽生さん

ぼくは、中学生になって、小学生のころとの違いを多く感じました。例えば、教科ごとに先生が変わることや、部活動があり生活のリズムが変化したことなど、小学校との違いに戸惑いました。また、今年は新型コロナウイルスによる新しい生活習慣により、例年とは違った生活を強いられ、困った点もありました。

そんな中、楽しいこともありました。それは部活動です。ぼくはサッカー部に所属しています。練習や試合を重ねる度に、ボールが正確に扱えるようになるなど、成果が目に見えてきているので、部活動をしていて楽しく感じます。

さらに、ソーシャルディスタンスなどの感染防止対策により、人と接する機会が少ない中でも、新しい友達ができました。そのことにより、友達と話すことが楽しみとなってが学校生活がより楽しくなりました。

また、大変だと実感したことは、定期テストです。小学校では、テスト勉強をしませんでした。ですが、中学校のテストは範囲が広いので、勉強しなくてはなりません。ぼくは自分なりに一生懸命勉強したのですが思ったような結果を得ることができませんでした。中学校のテストの難しさ、テスト前の準備の大切さを知りました。これからはもっと計画的にテスト勉強をして良い結果を得られるように努力していきたいです。

ぼくは、今、現在学んでいることを将来に生かし、社会で活躍できる大人になりたいと考えています。そのために2学期以降も仲間と切磋琢磨し、様々なことを学んでいきたいです。



1学期を振り返って

2年1組 飯塚 千尋さん

今年の1学期は、新型コロナウイルスによる自宅での長い長い自粛生活から始まりました。外出も制限された家の中だけの生活は、私たちにとって初めての経験であり、友達にも会えない状況に不安やストレスを抱える毎日でした。

そんな2カ月を過ごし、待ちに待った学校生活が始まり、期待や楽しみもありましたが、遅れた学習に対する不安もありました。

そこで私なりに方法を考え、学習では、苦手を作らないように心がけました。休校だった分、授業のペースが上がったので、ついていけるようにノートを素早くとりながら、先生の話をよく聞いて要点もチェックするようにしました。また、復習を欠かさずやっ



て間違えた所をマイスタにまとめ、テスト前に重点的に勉強するようにしました。そうして苦手部分をつぶすことに成功し、良い結果が得られたのでとても嬉しかったです。

数少ない行事で一番心に残ったのは体育祭です。ここでも新型コロナウイルスの影響で練習期間が短くなってしまいました。とても暑い日々でしたが、皆で目標をかかげ、汗だくになりながらも必死に練習をした時間は、私にとって宝物です。普段は話さない友達とも団結して、皆の仲が深まったように感じました。同率1位というのは悔しかったのですが、優勝することができて嬉しかったです。

今年は、新型コロナウイルスの影響で、マスクの装着や頻繁な消毒、常にソーシャルディスタンスを保つなど、今までに経験のない新しい生活が取り入れられています。祭りや花火大会などのイベントや船中泊や職業体験などの学校行事も次々と中止になって気分がどうしても下がりがちになります。だからこそ、その制限された中でできる、小さいけれどたくさんの新しいことを見つけ出して、自分なりの素敵な思い出をつくっていかうと思います。

コロナに負けず、勉強も行事も、全てが充実した2学期を過ごせるように努力していきたいです。

前期の生活を振り返って

3年1組 木村 春斗さん

僕が前期の学校生活で頑張ったことは、2つあります。

1つ目は部活動です。今年は新型コロナウイルスの影響で僕たちは交流試合という形で部活動最後の大会を迎えました。臨時休校があったことで、部活が再開した時には、身体が衰え毎日の練習が大変でしたが、本番の交流試合では、3年間で積み重ねてきた力を全て出し切ることができました。最後の大会で満足のいく結果を出せて嬉しかったです。



2つ目は受験勉強です。今年は今までと違い、4月から5月までのほとんどが自宅での学習でした。受験生でもある3年生は、この期間中に今まで学んできたことの復習、また、学校が再開する時のためにこれから新しく学ぶことへの予習をすることが自粛中の課題でもありました。だけど僕はそんなことはひとつも考えず、少しの時間、与えられた課題だけを済ませ、そのあとの時間は遊びに使うというだらけた生活をしてしまいました。そのせいで学校が再開してからの1回目のテストでは、良いとはいえない結果になってしまいました。受験生としての意識の低さを実感し、次のテストでは、毎日決まった時間勉強し、満足のいく結果を残せました。

後期の学校生活は、いよいよ受験へ向けての勉強に真剣に向き合わなくてははいけません。周りの人たちに遅れを取らないように、一日一日を大切に学校生活を送りたいです。

がん教育講演会の感想

体験談スピーカーバンク代表の志賀 俊彦様から、自身の体験に基づく貴重なご講話をいただきました。生徒の感想を紹介します。

9月24日(木)の第4校時に、3年生を対象に「がん教育講演会」を実施いたしました。がんに対する基礎知識や健康に関する関心をもつことをねらいとして継続的に行われている行事です。今年度は、茨城がん

「がん」は誰にでもなりうる病気であることが分かった。かかったからといって、すぐにどうにかなるものではないからこそ、今から知識を得ておく必要があることも分かった。「がん」はとても怖いものだと思っていたけど、この話を聞いて「がん」になっても生きる希望を捨てなければ、生きることの大切さや死の身近さを学ぶことができると分かった。この話は本当にためになったと思う。

保健委員 3年4組 石井 翼さん